

令和4年度
こどもエコクラブ全国フェスティバル 2023
～広がれ！SDGs アクションの輪☆～
実施報告書



はじめに

こどもエコクラブは、子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育み、地域の環境活動の環を広げることを目的として1995年にスタートしました。事業開始から30年近くが経過し、大人になったかつての子どもたちが、こどもエコクラブの活動を通じて培った力を地域のまちづくりに発揮しはじめています。

2022年度は、全国で2,082クラブ、92,112人の幼児から高校生までの子どもたちが、それぞれの地域に根ざした環境活動を行い、2023年3月に1年間の活動の締めくくりとして、こどもエコクラブ全国フェスティバルを開催しました。本フェスティバルはコロナ禍を乗り越え4年ぶりに開催、現地とオンラインをつなぐエコ活セッション、全員が楽しく学べる企業・団体のPR動画、配信による現地レポートなど、リアルとオンライン両面から楽しめるようハイブリッドでのプログラムを実施しました。参加した子どもたちは、活動をまとめた壁新聞や絵日記をもとに日々の活動などを発表して交流を深めるとともに、お互いの作品の「イイね！」を探して称え合い、今後も地域での活動を継続していくことを誓い合いました。また、企業・団体展示コーナーを見学して企業・団体の環境への取り組みについて楽しく学び、考える機会を持ちました。

こどもエコクラブのOB・OGからなるAll Japan Youth Eco-clubのメンバーをはじめ、現登録クラブの高校生メンバーや様々な大学の学生たちがボランティアとして本フェスティバルに参加し、前日準備から当日のプログラムの企画や運営をサポートしてくれました。彼らユース世代の活躍はメンバーにとって憧れのステキな先輩として、またサポーターにとっては次代の頼もしいリーダーとして映ったに違いありません。こどもエコクラブを通して持続可能な社会づくりを担う人材が育っていることを改めて確認することができました。

本報告書は、この全国フェスティバルの様子をまとめたものです。こどもエコクラブをご理解いただき、今後の連携・協働を進める上で、ご参考になれば幸いです。

目次

開催概要	3	受賞作品一覧	13
プログラム	4	幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与	15
オープニングセレモニー	5	クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定	15
交流タイム～クラブPRプログラム～	5	クロージングセレモニー	16
エコ活セッション①	6	子どもたちからの活動レポート	17
企業・団体の環境への取り組みを見てみよう！	7	サポーターからの声	17
みんなでレクリエーション	10	代表クラブ一覧	18
エコ活セッション②～イイね！ポイントラリー～	10	広報・普及活動	19
来賓挨拶	11	こどもエコクラブ支援企業・団体一覧	21
表彰式	11		

開催概要

- イベント名:「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2023 ～広がれ!SDGs アクションの輪☆～」
- 実施目的:熱心に活動をしている全国各地のこどもエコクラブの子どもたちが集い、環境活動の紹介を通じて相互の交流を深めるとともに、これらの情報を広く発信することにより、こどもエコクラブの活動の活性化及び本事業への理解と参加促進を図ります。

称える

活動発表や展示の機会を設け、一年間のがんばりを称え合う。

交わる

全国で活動する仲間(子ども・大人)の交わりを提供する。

知る

様々な体験学習を通じて新しい発見を得る。

広める

「こどもエコクラブ」事業への理解と参加を広く呼びかける。

- 開催日 :2023年3月26日(日)
- 会場 :国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町3-1)
- 主催 :公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
- 後援 :環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁、
独立行政法人国立青少年教育振興機構、公益社団法人こども環境学会、
全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- 特別協力 :こくみん共済coop<全労済>、株式会社タカラトミー、株式会社ミールケア
- 出展企業・団体:

【ブース出展】

株式会社エフピコ、佐川急便株式会社、宝酒造株式会社、
トヨタ自動車株式会社、一般社団法人日本WPA、日本CCS調査株式会社、
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、株式会社日の丸リムジン

【動画出展】

アース製薬株式会社、アマノ株式会社、リトルスタジオインク(イエローピンプロジェクト)、
株式会社タカラトミー、一般社団法人日本WPA、文化シャッター株式会社、
HOYA株式会社 アイケアカンパニー(コンタクトのアイシティ)、エコマーク事務局

- 協力 :MSC(海洋管理協議会)、ケニス株式会社、逆川こどもエコクラブ、
目白大学 人間学部児童教育学科 石田ゼミ、
早稲田大学学生環境NPO 環境ロドリゲス ecoSMILE

- 参加者 : 362名

- ・都道府県代表クラブ:141名(子ども79名、大人62名)
- ・絵日記受賞メンバー:7名(子ども4名、大人3名)
- ・防災受賞メンバー:11名(子ども5名、大人6名)
- ・一般来場者:1名(子ども0名、大人1名)
- ・省庁、こどもエコクラブ自治体担当者、支援企業団体等 関係者:15名
- ・出展企業・団体担当者:26名
- ・ユースボランティア、スタッフ:51名
- ・オンライン視聴(オンライン参加クラブ+YouTube配信視聴):110人

○都道府県代表クラブ

代表クラブは、1年間の活動などをまとめた「壁新聞」をもとに、独創性・発展性・アピール力・地域への密着性等の観点から選ばれたクラブ。各都道府県から原則1クラブ選出。

○絵日記受賞メンバー

1年間で印象に残った活動等を描いた絵日記をもとに、選考委員会にて選ばれた優秀賞受賞メンバー

プログラム

時 間	プログラム	展 示
9:30～10:00	◆集合、受付	
10:00～10:20	◆オープニングセレモニー はじまりのあいさつ、交流タイム 司会:All Japan Youth Eco-club 抽選で選ばれたクラブが 30 秒 PR をします。	
10:20～10:40	◆企業・団体紹介 ・企業・団体ブースで展示している環境に関する取り組み内容の紹介	
10:40～10:55	◆集合記念撮影	
10:55～11:55	◆エコ活セッション① 壁新聞・絵日記をもとに子どもたちが日頃の活動を発表・取材しあいます。	
11:55～14:20	◆昼食 ◆みんなでレクリエーション(交流プログラム) 早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス ecoSMILE による環境クイズ、逆川こどもエコクラブによるこくみん共済 coop <全労済>の防災かるた、一般社団法人日本 WPA の Eco カルタを用いたかるた大会など、学びながら交流します。 ◆企業・団体ブース見学、企業団体動画見学 企業・団体ブースを回って、最新の環境への取り組みを学びます。 ◆エコ活セッション② 他のクラブの壁新聞、絵日記を見て「イイね！」を探し、イイね！ポイントを称え合う「イイね！ポイントラリー！」を行います。	・全国から届いた壁新聞と絵日記の展示
14:25～14:35	◆来賓挨拶 環境省 環境副大臣 山田 美樹 様(ビデオメッセージ)	
14:35～15:15	◆表彰式 【壁新聞部門】 環境大臣賞:宮城県仙台市「スケッチ子供隊」 文部科学大臣賞:沖縄県南城市「ECO HONU (エコホヌ)」 消費者庁長官賞:鹿児島県鹿児島市「色響 (IRO & HIBIKI)」 日本環境協会賞:福岡県福岡市「ぶらぶらあぶらクラブ」 こくみん共済 コープ賞:愛知県一宮市「劇団シンデレラ」 タカラミー賞:福島県いわき市「いわき市立高坂小学校 SDGs 隊」 【幼児部門】ミールケア・エコまる賞: 兵庫県神戸市「神楽こども園 りんごキッズ」 【絵日記部門】優秀賞: 高橋 六花さん(宮城県石巻市「石巻市鹿又地区放課後児童クラブ」) 弓削 朱花梨さん(兵庫県神戸市「玉一アクアリウム」) 千葉 琥太朗さん(福島県いわき市「いわき市立高坂小学校 SDGs 隊」) 金山 凜さん(大阪府大阪市「せいわエコクラブ」) 【動画部門】 Youth 賞:福岡県福岡市「福岡工業大学附属城東高等学校 科学部」 【活動フォトコンテスト年間賞】 2022 年度こどもエコクラブ賞:三重県亀山市「魚と子ども Kids クラブ」 2022 年度ケニス賞: 福岡県大牟田市「認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ」 全国一斉活動「おうちで Bosai×Eco CAMP」(こくみん共済 coop <全労災> 連携プログラム)防災活動レポートの優秀賞についても、ここで表彰を行いました。	・活動フォトコンテスト受賞作品展示・年間賞投票 ・こどもエコクラブ応援企業・団体一覧
15:15～15:30	◆クロージングセレモニー ・全国フェスティバルのふりかえり ・閉会の挨拶	

オープニングセレモニー

今年の全国フェスティバルは、こどもエコクラブ OB・OG からなる「All Japan Youth Eco-club」と、現在クラブの中心になって活動している高校生メンバーとが力を合わせて司会進行を担当。いつもは参加する側のメンバーも、今回は迎える側として、全国各地から集まったクラブの子どもたちを元気な笑顔で歓迎してくれました。

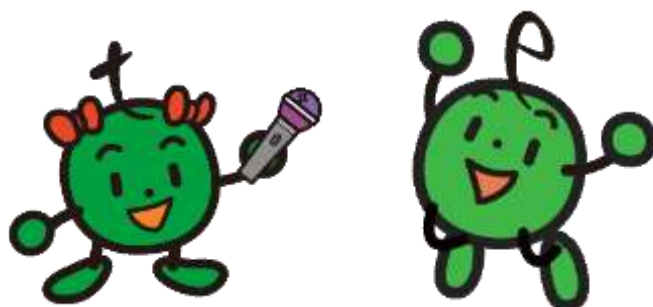
受付や会場誘導などにもボランティアとして多くの高校生・大学生が参加、さらにこどもエコクラブの人気キャラクター「エコまる」も駆けつけ、子どもたちも大喜び！久しぶりの対面開催、今日一日たくさん話して学んで、たくさんの仲間と楽しく交流するぞ！という思いがあふれるオープニングとなりました。



交流タイム ～クラブ PR プログラム～

全国からどんなクラブが来ているのかな？どんな活動をしているのかな？全国フェスティバルのメインプログラムである「エコ活セッション」をより楽しんでもらえるよう、クラブの PR プログラムを行いました。

参加クラブの書かれたカードが入った「エコまるボックス」から、司会がひいたカードに書かれているクラブが自分たちを PR。どんなクラブが来ているのかな？自分たちが当たったら何を話そう…というドキドキワクワクを感じながら、久しぶりの全国フェスでの緊張がほどけた和やかなプログラムとなりました。最初に当たったのはオンラインでの参加クラブ！現地と会場をつないでの PR。少し緊張しつつも、しっかり PR できました。続いては現地での参加クラブ。みんなお互いの紹介に興味津々。次のプログラム「エコ活セッション」に向けて、期待と興奮が高まったようです。



エコ活セッション①

オンラインチーム含めて6つのグループに分かれて、日頃行っている環境活動をまとめた壁新聞や絵日記をもとにメンバーたちが発表を行い、他のクラブがそれを取材しました。

たくさんの人にわかりやすく伝えられるよう手作りのボードを用意しているクラブや、何度も練習してきたのか大きな声でハキハキと発表するクラブなど、それぞれ伝える工夫が盛りだくさんの発表でした。メンバーからの質問はもちろんサポーターなど大人からの質問についても、子どもたち自らが考えてしっかりと答える頼もしいクラブもいて、日頃の熱心な活動の様子やメンバーの活発さがうかがい知れました。また、取材の時はどの子どもたちも真剣な表情で、興味をもったクラブの話の聞いたりメモをとったりしており、これからの活動のヒントもたくさん得たようです。オンラインチームも場所は離れていても、ハキハキと発表し、お互いに質問し合って楽しく交流ができました。またユースが現地の様子を伝える現地レポートも配信しました。オンライン参加・視聴のみならずにも会場の発表の様子や質疑応答など、あふれる熱気が伝わったと思います。

地域は違っても同じ分野で活動している「こどもエコクラブの仲間」として、いろいろなクラブと積極的に名刺交換や情報交換し合った子どもたち。日頃はクラブ単独で活動することが多い中、自分たちだけじゃない、全国でたくさんの仲間がいることを改めて感じ、これからも頑張ろうという意欲と元気がさらに高まっていました。

このプログラムについても、高校生・大学生などのユース世代が司会進行を行いました。子どもたちの熱心な様子にユースたちも圧倒され、自分たちも負けていけない！と大きな刺激をもらっていました。



エコ活セッションの発表の様子



ユースによる現地レポート(配信)の様子



企業・団体の環境への取り組みを見てみよう！

子どもエコクラブを応援している企業・団体にブースを出展していただき、それぞれの企業・団体が取り組んでいる環境に優しい様々な取り組みについて紹介いただきました。環境対策を担当している企業・団体の方から直接話を聞いたり質問したりすることは、クラブにとって大変貴重な体験となっており、メンバーからもサポーターからも毎回大好評のプログラムです。今回は感染対策のため、ブース数が今までより限られてしまいましたが、それを感じさせないほど賑わい、それぞれのブースではたくさんの質問が飛び交っていました。

様々なブースの見学を通して新たな発見や学びを得て、持続可能な社会づくりに取り組んでいる社会の動きを実感した子どもたちは、それぞれのブースで学んだこと・感じたことを書きとめるとともに、「子どもエコクラブからのメッセージ」として会場に展示しました。これらのメッセージは、参加した企業・団体に届け、今後の環境に関わる活動の参考にしていただきます。



○ 企業・団体の出展内容

【ブース出展】

株式会社エフピコ

使用済み食品トレーをトレーにリサイクルする技術や再生原料を使った「エコトレー」について学び、リサイクルの大切さを実感しました。



株式会社エフピコ
「作る責任がある」ということは聞いて、「使う責任もある」と思いました

SGホールディングスグループ / 佐川急便

荷物の配達に関するエコとして「環境対応車の導入」、ペットボトルをリサイクルした「エコユニフォーム」、そして「森林・生物多様性の保全」について学びました。



佐川急便さんのおトレーが
僕たちエコをばいして使うから
燃焼ガスのトレーにききいろの
がしていいおアイデアだな
と思いました。これからがんばる
ください。

宝酒造株式会社

商品と関わりの深い「自然」と「空容器」に関する取り組みについて学び、「おうちで田んぼ体験キット」で家でも稲の栽培体験ができることを知りました。



宝酒造
普通は、田んぼで
育てる米だけれども、
家で育てることもできる
と分かったし、やってみたい
です。

トヨタ自動車株式会社

車を作る時から使い終わるまで、車が走る時などの CO₂ を減らす取り組みや、工場での節水、車のリサイクルや動植物の保全など、クイズで楽しく考えました。



トヨタさん
カーボンニュートラルの実現が楽しみです！
さいりー度トヨタさんの水素バスに乗ることがあるので、私も静かで環境にもやさしいので、乗りたいです！

一般社団法人日本WPA

印刷の仕組みを学び、印刷がどのようなになっているかを実際にルーペで観察しました。また環境にやさしい水なし印刷がどのような印刷方法なのかを学びました。



日本WPAさん
印刷する時の当たり前を裏面を覗くと驚かされた。企業でこうした問題に取り組む取り組みが普通になった時代、その目の前にお客様として参加したいです。ありがとうございます。

日本CCS調査株式会社

地球温暖化の対策として、工場などから排出される二酸化炭素を地中に封じ込める技術について、模型で確認しながら学びました。



日本CCS調査株式会社
模形式だったので、どうやって二酸化炭素(CO₂)を地中を貯蔵しているのかよく分かりました！
ありがとうございます。

公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会

リチウムイオン電池をごみに出すのは危険なこと、リサイクルの方法などをクイズで学び、リサイクルの大切さとごみの分別の重要性を実感しました。



公益財団法人
日本容器包装リサイクル協会
ペットボトルのリサイクルのしかたが、おもしろいクイズがたのしかったです。ネジもイオン電池も入れないよ！にします。

株式会社日の丸リムジン

タクシー会社の取り組みとして、タクシーそのものに電気自動車を導入するなどの環境対策に力を入れていることを学びました。



日の丸リムジン
電気自動車の導入に力を入れていていいですね。
国産車の電気化もE-ドライブに何かアクションされてはいいですね。

【PR動画出展】

今回、リアルとオンラインのハイブリッド形式での開催に伴い、企業・団体の環境への取り組みに関するPR動画形式の出展も取り入れました。それぞれの企業・団体が取り組んでいる環境に優しい様々な取り組みについて、PR動画としてご出展いただき、会場前のモニターやお昼休み中のスクリーン・配信などで上映して紹介しました。リアル参加、オンライン参加含めたくさんの子ども達が動画を通じて学んでいました。

ブース出展とはまた一味違う動画での学びを得て、それぞれの動画で学んだこと・感じたことを書きとめたメッセージは、参加した企業・団体に届け、今後の環境に関わる活動の参考にしていただきます。

また企業・団体のPR動画とともに、エコ活コンクール動画部門のYouth賞受賞作品もあわせて上映いたしました。



↑※PR動画QRコード



アース製薬株式会社

野菜と農薬について、クイズ形式の動画で学びました。どんな野菜がおいしい？農薬は人間にとって危ない？など、気になることを良く知ることができました。

・わかったこと/すごいと思ったこと/質問したいこと
虫にたいへんではないほうがおいしいことがわかりました
あんなのうわくがあることにはじめてでした
アース製薬の発想が

アマノ株式会社

お掃除ロボット「ハピボット」について、動画で学びました。CO₂削減が期待できるアルカリ電解水も使用でき、色々な場所で大活躍していることがわかりました。

・わかったこと/すごいと思ったこと/質問したいこと
床掃除が効率的にできてすごいと思った
オフス・スーパ・病院など広い施設で活躍できて
すごいと思った

リトルスタジオインク(イエローピン プロジェクト)

プログラミングで海のSDGs！について動画で学びました。海の問題とプログラミングを合わせたワークショップと、それに参加した子どもたちの感想を知りました。

・わかったこと/すごいと思ったこと/質問したいこと
プログラミングで海を守るというは、そうがなかったの
です、いいと思いました。出前授業に来てほしい
と思いました。楽しかったです。ありがとうございました。
SDGsをテーマにした

株式会社タカラトミー

エコの工夫をしているエコイ「ボトルマン」とリサイクルについて動画で学びました。ボトルマンで楽しく遊びながら、分別についても学べることがわかりました。

・わかったこと/すごいと思ったこと/質問したいこと
遊んでいるうちに学べて小さな子供でも学びやすくていいと思いました
た。食済み終わったペーパーボトルでできて遊んで終わった5分別して
たれてもかんたんに学べていいと思いました。そしてアニメでも学べて、
子供向けで分かりやすいと思いました

一般社団法人日本WPA

教科書をつくる時の方法と環境に優しい「水なし印刷」について動画で学びました。水なし印刷は環境にも人にも優しいことがわかりました。

・わかったこと/すごいと思ったこと/質問したいこと
教科書は小学生から高校生が使うのでたくさん作るからその分環境
にいいからとてもいいと思いました。VOCを無くすと人に生ご物の
体にいいので水なし印刷が広まればいいと思いました。

文化シャッター株式会社

100%リサイクル素材でできた「テクモク」について動画で学びました。リサイクル素材できているうえに、高い耐久性、色々な使い方ができることが分かりました。

・わかったこと/すごいと思ったこと/質問したいこと
テクモクは、ずっとリサイクルできてすごいなと思いました。また、害虫や水はけがよくて、人間にやさしいのですごいと思いました。

HOYA 株式会社 アイケアカンパニー(コンタクトのアイシティ)

コンタクトの空ケースのリサイクルについて動画で学びました。空ケースのリサイクルによって再資源化、自立・就労支援、寄付につながる事が分かりました。

・わかったこと/すごいと思ったこと/質問したいこと
4億ちかくもコンタクトの空ケースがあることにおどろきました。コンタクトを使っている人たちがリサイクルに出すだけではないものが出てくることにおどろきました。コンタクトを使っている友達に教えてあげようと思います。

エコマーク事務局

「エコマーク」について動画で学びました。たくさんのもやサービスに付いていること、なぜエコマークが付けられるのかを知りました。

・わかったこと/すごいと思ったこと/質問したいこと
時々、エコマークを見かけていました。5万もの商品にエコマークが付いているなんておどろきました。エコマークの意味が分らなかつたので、知ることができてよかったです。身の回りの商品からエコマークを見つけたいです。

みんなでレクリエーション

「早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス ecoSMILE」が担当し、「クイズで探Q！一緒に環境について考えよう」クイズを実施しました。また「逆川こどもエコクラブ」がこくみん共済 coop <全労済>の防災かるた、一般社団法人日本WPAのEcoカルタを使ってかるた大会を開催、楽しく交流しながら環境について学びました。

「クイズで探Q！一緒に環境について考えよう」ではみんな「これかな？どうかな？」と考えながら真剣にクイズに取り組んでいました。正解したらにっこり！次のクイズにも気合が入っていました。

こくみん共済 coop <全労済>の防災かるた、一般社団法人日本WPAのEcoカルタでは、みんな鋭いまなざし、札が読み上げられるとこれだと思ふ札へ一直線！「取れたー！」の嬉しそうな声や「次こそ！」という頼もしい声が聞こえ、盛り上がっていました。これやったことある、これ大事だね、など、札の内容に触れる声も聞こえ、楽しく身体を動かして交流することができました。



エコ活セッション②～イイね！ポイントラリー！～

全国のクラブの壁新聞を見て、がんばってるな！すごいな！と思うポイントを見つけ合う「イイね！ポイントラリー！」を行いました。壁一面に展示されている全国様々な壁新聞それぞれにそれぞれの良いところがあります。色々なクラブの壁新聞を見て、良かったと思うところ、素敵だなと思うところを見つけあい、お互いにイイね！ポイントとして称え合います。

日頃から活動しているだけあって、みんな他のクラブの良いところを見つけるのはとっても上手。集中して壁新聞をじっくり読んで、イイね！ポイントを用紙に書き込みます。用紙はエコまるボックスに投函！用紙はそれぞれのクラブへ届けます。自分たちの壁新聞はどんなところを見られるかな？この書き方すごくイイね！そんな思いが聞こえてくるようでした。



来賓挨拶

こどもエコクラブの活動を応援している環境省から、山田美樹環境副大臣よりビデオメッセージをいただきました。コロナ禍で交流や学びの機会が少なくなりましたが、全国の仲間たちが集まり、活動を応援する大人もたくさんいることがわかり、心強く感じたのでは？仲間をもっともっと増やして活動の輪を広げてほしい、こどもエコクラブのみんなが大人をも引っ張っていく気持ちで活動していくことに期待しているなど、温かく心強い応援のメッセージをいただきました。



表彰式

1年間の活動についてまとめた壁新聞や、1年間の活動で印象に残った活動・みんなに伝えたい活動を描いた絵日記を募集した「全国エコ活コンクール」の受賞クラブ・受賞メンバーに対して、環境大臣賞をはじめとする各賞が贈られました。

なお、ユース発足10年を記念して作った動画部門については、受賞作品を企業・団体のPR動画とともに会場前のモニターやお昼休み中のスクリーンなどで上映して紹介いたしました。

また、全国一斉活動「おうちで Bosai×Eco CAMP」(こくみん共済 coop〈全労災〉連携プログラム)防災活動レポートの優秀賞についても、ここで表彰を行いました。



壁新聞部門 環境大臣賞:スケッチ子供隊

壁新聞部門 受賞クラブ

賞名	クラブ名
環境大臣賞	スケッチ子供隊(宮城県仙台市)
文部科学大臣賞	ECOHONU (エコホヌ)(沖縄県南城市)
消費者庁長官賞	色響(IRO&HIBIKI)(鹿児島県鹿児島市)
日本環境協会賞	ぶらぶらあぶらクラブ(福岡県福岡市)
こくみん共済 コープ賞	劇団シンデレラ(愛知県一宮市)
タカラトミー賞	いわき市立高坂小学校 SDGs 隊(福島県いわき市)



文部科学大臣賞:ECOHONU (エコホヌ)



消費者庁長官賞:色響(IRO&HIBIKI)



日本環境協会賞:ぶらぶらあぶらクラブ



こくみん共済 コープ賞:劇団シンデレラ



タカラトミー賞:いわき市立高坂小学校 SDGs 隊 (プレゼンターオンライン参加)

絵日記部門 受賞メンバー

賞名	クラブ名	名前
優秀賞	石巻市鹿又地区放課後児童クラブ(宮城県石巻市)	高橋 六花さん
優秀賞	玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)	弓削 朱花梨さん
優秀賞	いわき市立高坂小学校 SDGs 隊(福島県いわき市)	千葉 琥太朗さん
優秀賞	せいわエコクラブ(大阪府大阪市)	金山 凜さん



高橋 六花さん



弓削 朱花梨さん



千葉 琥太朗さん



金山 凜さん(オンライン参加)



映像部門 受賞クラブ

賞名	クラブ名
Youth 賞	福岡工業大学附属城東高等学校 科学部



Youth 賞:福岡工業大学附属城東高等学校 科学部

防災活動レポートの
表彰も行いました



壁新聞



◆環境大臣賞
スケッチ子供隊
(宮城県仙台市)
「青き海の SOS マイクロプラスチックから守ろう新聞」



◆文部科学大臣賞
ECOONU (エコホヌ)
(沖縄県南城市)
「エコホヌ新聞」



◆消費者庁長官賞
色響 (IRO&HIBIKI)
(鹿児島県鹿児島市)
「海からの便りを音にのせて」



◆日本環境協会賞
ぶらぶらあぶらクラブ
(福岡県福岡市)
「福岡市の水の旅」



◆こくみん共済 コープ賞
劇団シンデレラ
(愛知県一宮市)
「イタセンバラの住む木曾川を大切に」

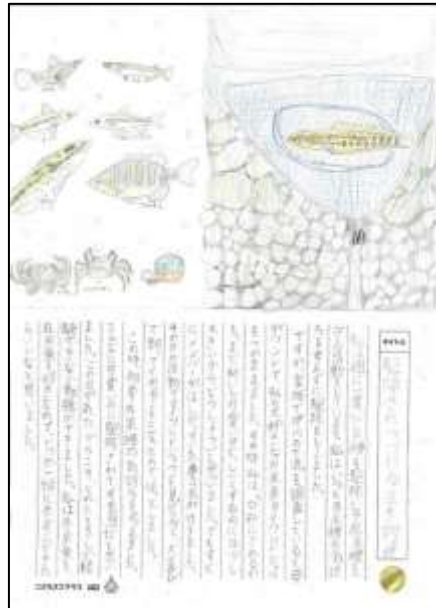


◆タカラトミー賞
いわき市立高坂小学校 SDGs 隊
(福島県いわき市)
「消えたハスもどってこい」

絵日記



◆優秀賞
高橋 六花さん 「LED とでんきゅうのちがい」
石巻市鹿又地区放課後児童クラブ (宮城県石巻市)



◆優秀賞
弓削 朱花梨さん 「駆除されつづける生き物達」
玉一アクアリウム (兵庫県神戸市)



◆優秀賞
千葉 琥太郎さん 「緑がいっぱいの福島」
いわき市立高坂小学校 SDGs 隊 (福島県いわき市)



◆優秀賞
金山 凜さん 「ヘチマでグリーンカーテン」
せいわエコクラブ (大阪府大阪市)

動画部門

◆Youth 賞
福岡工業大学附属城東高等学校
科学部

※作品QRコード→



○ 幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与

全国フェスティバルへの参加が難しい、保育園・幼稚園のクラブなどメンバー全員が幼児のクラブには、別途審査を行い、株式会社ミールケアのご提供により「ミールケア・エコまる賞」を贈呈し、クラブの活動場所に「エコまる」が出向いて、表彰状を授与するとともに、メンバーと一緒に楽しい体験プログラム「エコまるのエコ教室」を行います。

今回受賞した神楽こども園 りんごキッズには 3 月 29 日に訪問、プログラムを実施しました。



神楽こども園 りんごキッズ
(兵庫県神戸市)
「エコしんぶん」



神楽こども園 りんごキッズでの表彰の様子
(2023. 3. 29)

○ クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定 (協力:ケニス株式会社、株式会社共立理化学研究所)

こどもエコクラブの元気な活動の様子や子どもたちの環境への思いをたくさんの人に知ってもらい、エコの環を広げることを目的に行っている『クラブ活動フォトコンテスト』の2022年度 第1期～第3期の入賞作品すべてを展示し、全国フェスティバルの参加者全員の投票を行いました。また全国のクラブにも広く呼びかけオンラインでも投票を実施し、その投票結果もあわせて年間賞を決定しました。



■ 2022 年度こどもエコクラブ賞
魚と子ども Kids クラブ(三重県亀山市)
「ウェルカメよっかいち 早朝清掃 2022」



■ 2022 年度ケニス賞
認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ(福岡県大牟田市)
「蓮の葉っぱで遊んでみました」

クロージングセレモニー

最後にみんなで全国の仲間たちとの交流や活動発表、企業・団体ブースの見学で「わかったこと」「学んだこと」などを振り返りました。

メンバーから次々と手が上がり、「参加できてよかった」「どの壁新聞も素晴らしかった」「たくさん頑張ってまたここに来たい」「壁新聞や企業・団体などの環境に関する色々な取り組みを見られて勉強になった」「全国の仲間がいろいろな活動していることがわかった。自分たちも頑張っていこうと思った。」「企業や団体の人たちがわかりやすく説明してくれてとても勉強になった」などのたくさんの発言がありました。

最後に、今日一日司会や進行を担ってくれたユースたちと参加してくれたみんなで『広がれ！』『SDGsアクションの輪☆！！』のかけ声を行い、「これからも元気にSDGsアクションの輪を広げていこう！」と誓い合って、「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2023～広がれ！SDGsアクションの輪☆～」を閉幕しました。



○ みんなで集まって集合写真



子どもたちからの活動レポート

全国フェスティバル終了後、地域に帰ったそれぞれのクラブから、全国フェスティバルで感じたこと、わかったこと、多くの仲間に伝えたいことなどを満載した活動レポートが届きました。クラブからのレポートは、参加できなかった全国の仲間や関係者、その他多くの皆さんに発信するため、子どもエコクラブウェブサイトでも紹介いたします。



○ サポーターの声(一部抜粋)

- ・ 全国で活動する様子が一同に伺えて大変勉強になり、刺激を受けました。志を同じくする仲間がこんなにもいるのだという喜びと、活動の価値の再発見になっていたと思います。子どものまなぶ意欲を育てるとも貴重な機会だと思います。
- ・ 他のエコクラブの子供達とも交流できたことで、次年度の活動への意欲につながる機会になったと思います。
- ・ 久しぶりにできた全国フェスティバルで、エコ活セッションや企業・団体の取り組み等から、多くのことが学びました。
- ・ 全国規模のフェスティバルで、環境が違う所でのエコ活動にメンバーが興味を持って参加できた。
- ・ 全国に友達ができてすごく参加して良かった。全国で頑張る仲間の活動に触れ、自分たちももっと頑張らなくてはと思いました。
- ・ メンバーがすごく人見知りでしたが、同じグループのメンバーやサポーターの方々がとても良くしてくださって、ほめてくださって、すぐにうちとけることができました。交流も始まりそうです。

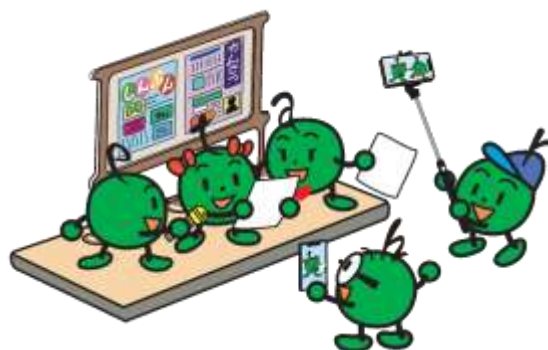
参加クラブ一覧

【壁新聞部門】

都道府県	市区町村	クラブ名	壁新聞タイトル
青森県	弘前市	HEP21 エコクラブ	だんぶり池の仲間たち
宮城県	仙台市	スケッチ子供隊	青き海の SOS マイクロプラスチックから守ろう新聞
秋田県	秋田市	MV 秋田緑の少年団こどもエコクラブ	森と山で体験発見！
福島県	いわき市	いわき市立高坂小学校 SDGs 隊 ※絵日記部門でも参加	消えたハスもどってこい
茨城県	水戸市	逆川こどもエコクラブ	我が家のプラゴミ実態！（1か月しらべ）
群馬県	太田市	太田イオンチアーズクラブ	2022年の活動について
埼玉県	宮代町	MIYASHIRO エコ☆スターズ	2022 エコ活動新聞
神奈川県	横浜市	二ツ池こどもエコクラブ	二ツ池新聞
愛知県	一宮市	劇団シンデレラ	イタセンパラの住む木曾川を大切に
三重県	亀山市	魚と子ども Kids クラブ	鈴鹿川流域の生き物全員集合！！
滋賀県	守山市	認定 NPO 法人 びわこ豊穰の郷 目田レンジャー	目田レスキュー新聞 一生きものを守るぞ！
京都府	京都市	西京極こどもエコクラブ	外来種って何なの？
大阪府	大阪市	せいわエコクラブ ※絵日記部門でも参加	楽しく地球を守ろう
兵庫県	神戸市	玉ーアクアリウム ※絵日記部門でも参加	明石川と共に生きる～兵庫県レッドリスト要調査種ヒナハゼ～
奈良県	天理市	福住こどもエコクラブ	0からはじめるお米づくり～休耕田を復活させよう～
島根県	出雲市	上津探検隊	ケロケロカエル調査新聞 16
高知県	香美市	香美市こどもエコクラブ エコサンフラワー（オンライン参加）	エコサンフラワー セカンドステージ
福岡県	福岡市	ぶらぶらあぶらクラブ	福岡市の水の旅
長崎県	平戸市	からすやまエコクラブ	ひらどエコフェスタ
熊本県	益城町	広西地球環境クラブ（広安西小学校環境委員会）（オンライン参加）	熊本大地が生んだ自然の奇跡
鹿児島県	鹿児島市	色響（IRO&HIBIKI）	海からの便りを音にのせて
沖縄県	南城市	ECOHONU（エコホヌ）	エコホヌ新聞

【その他部門】

都道府県	市区町村	クラブ名	部門
宮城県	石巻市	石巻市鹿又地区放課後児童クラブ	絵日記部門
福岡県	福岡市	福岡工業大学附属 城東高校	動画部門
東京都	渋谷区	ピーチーズ	防災プログラム活動レポート受賞クラブ
和歌山県	橋本市	あやの台小学校エコマート	防災プログラム活動レポート受賞クラブ



広報・普及活動

多くの方々に全国フェスティバルの周知を図るため、さまざまな手法を用いて広報活動を行いました。

- ・子どもエコクラブホームページ、SNS、メーリングリスト等にて、全国の登録クラブ及び地方自治体等へ発信。
- ・公益財団法人日本環境協会 プレスリリース
- ・環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁の記者クラブへのリリース
- ・地方自治体、環境関連施設、環境団体等へのリリース
- ・子どもエコクラブ パートナー企業・団体へのリリース など

都道府県代表のクラブの紹介等、全国フェスティバルに関連する情報は、メディアや各地方自治体、パートナー企業・団体、環境関連施設、環境団体、教育委員会等によって、様々な媒体において掲載されました。

◆地方自治体(一部抜粋)



福岡県(2023.3.31)



鹿児島県(2023.3.10)



仙台市(2023.4.1)



南城市(2023.4.3)



一宮市(2023.4.14)

◆企業・団体等(一部抜粋)



株式会社タカラトミー (2023.3.3)



一般社団法人日本 WPA (2023.3.28)



日本 CCS 調査株式会社 (2023.3.28)



公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会 (2023.4.12)

◆メディア(一部抜粋)



福島民報社 (2023.3.27)



福島民友新聞 (2023.3.27)



中日新聞 (2023.4.18)

こどもエコクラブ支援企業・団体一覧

こどもエコクラブは、多くの企業・団体の支援により活動しております。



アース製薬	こくみん共済 coop 〈全労済〉	Pacific Life Re International
アクサ損害保険	コンタクトのアイシティ	長谷工コーポレーション
朝日テクノ	嵯峨野	バンダイナムコホールディングス
アポクリート	CCCMK ホールディングス	日の丸リムジン
アマノ	ジーエス・ユアサ バッテリー	フォレストパックス
アルバルク東京	JTB	福岡銀行
アントレックス	JBRC	ふくろうのはね
イオン九州	ジャパンビバレッジエコロジー (リサイクル・プラザ JB)	ブリヂストン
イオンファンタジー	住商フーズ	プロントコーポレーション
イオン 1%クラブ	住友生命保険	文化シヤッター
出光興産	3R 活動推進フォーラム	マインズ農業協同組合
SG ホールディングスグループ (佐川急便)	積水化学工業	マツキヨココカラ&カンパニー
エフピコ	ターナー色彩	ミールケア
エネラボ	タカラトミー	三井住友海上火災保険
塩ビ工業・環境協会	宝ホールディングス	三菱地所レジデンス
尾上萬	鉄建建設	三菱電機
教育出版	東京国際フォーラム	メルカリ
共立理化学研究所	トヨタ自動車	山田養蜂場
キリン	ノーリツ	リード
熊本銀行	日本 CCS 調査	リソー教育グループ
グリーンクロスジャパン	日本 WPA	リトルスタジオインク
ケニス	日本容器包装リサイクル協会	龍角散

(五十音順・2023年3月現在)





■ 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5階
TEL 03-5829-6359 FAX 03-5829-6190
こどもエコクラブウェブサイト <https://www.j-ecoclub.jp/>